

『スーパーでローラースケート?』



長浜市国際交流員
ソランジェ

皆さんこんにちは！
ブラジルでの日常的な買い物は、日本と同じように大きなスーパーマーケットや地元の小さなお店でします。

田舎まちではあまり見かけませんが、広大な売り場面積をもつハイパーマーケットでは、ローラースケートを履き、膝にサポーターを着けた従業員がいます。

例えば、レジ係が客に「Algo mais? (他にありませんか)」と尋ね、客が欲しい物をリクエストすれば、

ローラースケートの従業員が素早くその商品を取りに行きます。

客は商品を探しに行く手間が省け、再度レジに並ぶ必要がありません。スーパーにとっても売上げが増え、接客サービスも向上するため効果的です。

ハイパーマーケット以外にも、こうしたサービスを行うスーパーが増えてきました。



☆ワンポイントポルトガル語講座☆
パチンス Patins → ローラースケート
「tins」を強く発音

市民協働推進課 (☎65-8711)

長浜米原休日急患診療所 8・9月の診療日のお知らせ

【診療日】 8月3日、10日、17日、24日、31日
9月7日、14日、15日、21日、23日、28日
【診療時間】 9時～18時
【受付時間】 8時30分～11時30分
12時30分～17時30分
【場所】 湖北医療サポートセンター「メディサポ」内(宮司町1181-2)
【電話番号】 65-1525
※受診時は保険証・お薬手帳をお忘れなく。
※電話番号はお間違えのないようご注意ください。
市民協働推進課 (☎65-7779)

相談

女性の悩み相談(要予約)

【とき】 8月5日(火)10時～14時
8月23日(土)12時～16時
9月2日(火)10時～14時
【ところ】 長浜市民交流センター和室
【相談員】 下地久美子さん(臨床心理士)
【料金】 無料
※託児あり(要予約)、秘密厳守
平日：人権施策推進課 (☎65-6556 専用ダイヤル)
土日：市民交流センター (☎65-3366)

結婚相談

【長浜地域】 8月28日(木)18時～20時
長浜市民交流センター(地福寺町)
【浅井地域】 8月22日(金)18時～20時
七尾公民館(佐野町)
【びわ地域】 8月22日(金)19時30分～21時
びわ公民館(難波町)
【虎姫地域】 8月22日(金)18時～20時
虎姫時遊館(三川町)
【湖北地域】 8月17日(日)18時～20時
湖北福祉ステーション・高齢者福祉センター(湖北町速水)
【高月地域】 8月20日(水)13時～15時
高月支所(高月町渡岸寺)
【木之本地域】 8月21日(木)15時～17時
公立木之本公民館(北部振興局内)
【余呉地域】 8月23日(土)10時～12時
山村開発センター(余呉町中之郷)
【西浅井地域】 8月20日(水)13時～15時
西浅井公民館(西浅井支所内)

市民協働推進課(☎65-6536)
市ホームページ「結婚支援」で検索
またはQRコード

※いずれの会場も提供できる情報は同じです。
※登録の有効期限は3年です。再登録を希望する人は、各会場で申請をお願いします。

不用品交換情報(7月11日現在)

ください(無料)
○自転車(大人用)○トロンボーン
○剣道着○腕時計(ストップウォッチ機能付き)○布地○硯○クーハン○版画のプレス機○掃除機○柔道着○二槽式洗濯機○草刈り機○ベビーベッド○植木鉢
ゆずってください(有料)
○草刈り機○自転車(大人用)○トロンボーン○掃除機
あげます(無料)
○シングルベッド○学習机○エレクトーン○たんす(大・小)○除湿機○羽布団○洋服タンス○和風椅子○介護用ベッド
ゆずります(有料)
○学生服・体操服(長浜南小)○風呂用車椅子○冷凍庫○製図用ドラフター○ポリタンク○胸長長靴○投網
※現物は保管していません。
※市は取次ぎのみで、利用者双方の話し合いで決定していただきます。
市民協働推進課(☎65-6513)

8月の税・料

国民健康保険料	3期
介護保険料	3期
後期高齢者医療保険料	2期



▲西野水道の入口



▲西野恵荘肖像(充滿寺蔵)

記録によると、石工の労働日数は5289日、村方人数3500人、他村からの手伝い人足123人を要し、石工の賃金やその他の経費を合わせると1275両(現在の約3.5億円)といわれています。このほとんどの資金や労働力は100戸足らずの農家が力を合わせて負担し、捻出しました。

西野水道は江戸時代につくられた近江の「青の洞門」と呼ばれる高さ約2m、幅約1.2m、長さ約220mの岩盤をくりぬいてつくられた排水用の水路です。
高月町西部、余呉川流域の中域にある西野は、北西部を山に囲まれ、高月町域では最も低い場所に位置しています。そのため、大雨のたびに川は氾濫し、田畑は水浸しになりました。江戸時代の天明3年(1778)、同年7年、文化4年(1807)の大洪水と大飢饉には、西野は壊滅的な状態となりました。
そこで浄土真宗充滿寺第11代住職西野恵荘(1778～1849)は村人達を救うには山を掘り抜き、この水を琵琶湖に放水するよりほかに手段はないと考えました。

恵荘はこの村で生まれ育ち、幼い頃からこの村の人々と共に洪水による苦難をつぶさに体験した人です。当時としては前代未聞の大事業です。

が、彼の指導のもとに村人が主体となり、彦根藩の理解と援助を受け、能登(石川県)から石工3人を呼び寄せ、天保11年(1840)7月29日、掘削に着手しました。工事は難航を極め、また、資金難や度重なる落盤事故など幾多の苦難を乗り越えて、5年後の弘化2年(1845)9月1日、西野水道は完成しました。内部の壁にはノミ痕が残り、途中で水路は折れ曲がり、川床も所々深く掘られるなど、工事中に何度か方向と高低を修正したことがわかります。



▲当時のノミ痕を残す内部



市民協働推進課
文化財保護センター
(☎64-0365)

現在この地には西野ほりぬき公園として、先人の労苦を偲び、石碑を建立した記念公園がつくられ顕彰されています。毎年6月には、今年で30回目となる西野水道まつりが行われています。なお、西野水道のすぐ南に昭和25年(1950)、新たな水路が掘られ、また、その南には昭和55年、大規模な余呉川放水路が設けられるなど、今日まで余呉川の治水事業は続いています。
見学は自由です。西野ほりぬき公園にヘルメット・懐中電灯・長靴が備え付けてありますので、いつでもくぐり抜けることができますが、中は大変暗く狭いため、転倒には十分注意してください。また、水量が多いときは危険ですので、進入は控えてください。

ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、446件ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介しています。

※平成26年4月1日現在

県指定史跡

西野水道(高月町西野)

昭和59年3月30日指定